

腎臓高血圧内科 専攻医プログラム

プログラム概要

研修目標

- ・3年間で専攻医の修了を目指す。
- ・CKD、AKI、腎炎、HD、PD、腎移植と幅広い腎臓病に対応できるようにする。

到達目標

入院患者5-10名の担当医となり、主治医、上級医の下で検査、治療計画を立て診療を習得する。外来診療では、内科疾患、主に腎疾患、高血圧患者さんを対象として急性、慢性疾患の治療を行っていく。また、維持血液透析患者や腹膜透析患者さんの外来診療や維持管理を習得する。その他、各種急性血液浄化療法やアフレススの施行や、腎障害、AKI、電解質異常などのコンサルテーションに対応する診療能力を身につける。腎生検を一人できるようにし、腎病理を解釈できるようにする。希望者は腎生検診断を行う。また、内シャント、動脈表剤化、PDカテーテルなどのアクセス作成、血管内治療(インターベンションなど)を助手、術者として経験する。

全ての項目が到達目標に達するようにする。症例検討や臨床研究に関して関連学会での発表をする。また余裕があれば、臨床論文を作成し学術誌に投稿する。

業務内容

外来診療業務として、クリニック外来診療(週1-2回/週)、透析外来診療(2~3回/週)があります。腎移植外来(1回/月)、腹膜透析外来(1-2回/月)がある。

そのほか拘束業務(1~2回/週)、関連施設への出向(1~2回/月)などがある。

カンファレンス

1. 朝カンファレンス(毎日8:00~8:30)

月曜日から金曜日の毎朝、前日の入院患者、出向透析をする患者を中心にカンファレンスを行っている。入院患者のカンファレンスは、火曜日午後、水曜日朝、昼に行っている。

2. 抄読会・レクチャー(火曜日16:30~17:30)

週1回ミニレクチャーの形式で、各医師が調べてきたことをプレゼンテーションをする。

3. リハビリテーション・ソーシャルワーカー・薬剤師合同カンファレンス(火曜日15:00~)

リハビリテーションの必要な患者さん、また社会的に問題の生じている患者さん、また栄養の問題がある患者さんを対象に、社会復帰・退院に向けて合同でカンファレンスを行っている。

4. 腎生検病理検討会(火曜日16:30~17:30)月1回

腎生検病理組織を閲覧し、診断・治療を決定する。

5. アクセスインターベンション、アクセス作成

透析センター長 久慈先生による指導のもと研修を行っている。

研修修了者の専門医取得状況

腎臓学会専門医取得 12名

透析医学会専門医取得 12名

(2010-2020年)

研修修了後の進路

大学病院医局への入局、大学院への進学、または一般病院への就職など多岐にわたります。

適宜相談させて頂いております。